

進学・学習の軌跡

進路指導について

この十年間の進路状況

国公立大学の合格者数（実数）を見ると、

平成18年（3月卒業生）から1000人を超える年が続き、平成20年には過去最高の134名となった。しかし、平成24年からは再び3桁を割り込む年が続いている。また、平成24年以降は、大学・短大への進学者数も減少してきている。一方、就職者は増加傾向にあり、平成23年からは10名を超え、平成27年には20名を越えた。全体的には、大学進学希望者がほとんどであり、就職希望者のほぼ全員が公務員試験受験者であることは変わらない。

大学入試情勢の変化

①国公立大学、特に旧帝大や医学科などの難関大学で後期日程廃止が拡大（平成18年度以降顕著に）。周辺大学の後期日程では、少数激戦の入試に。

②新教育課程生受験への移行により、平成18

年度より、英語リスニングテストが導入され、時間割も大幅に変更。

③平成19年度には大学全入時代が到来。私立大全体の易化とともに、志願者の集中する一部の難関大と都市圏大、それ以外の大学では減少傾向が続き、私立大学二極化が拡大。

④長引く不況により「国公立大志向」が高まり、「地元志向」「安全志向」が顕著に。また、「資格系学部」に人気が集まるなど、景気の影響を色濃く受ける状況に（特に平成22年度以降顕著に）。また、「文低理高」が年々鮮明に。

⑤医学部医学科の入学定員増加。平成20年度より増員と地域枠の拡大進む。

⑥平成23年度入試において、大学入学者の学力低下議論をふまえ、文部科学省よりAO・推薦入試の学力把握措置を徹底するよう示された。

⑦平成24年度センター試験から、「理科」及び「地歴・公民」は10分間の休憩時間をはさんで2時間連続で実施する形に変更。実施や採点方法の違いにより混乱を招く。

⑧平成27年度センター試験から、数学と理科が新課程に沿った出題に切り替わり。また、理科の新課程科目は「基礎を付した科目の理科①」と「基礎を付さない科目」の理科②が出題され、受験生は出願時に受験パターンを決める必要があるなど、かつてない複雑な実施になったほか、実質的な出題範囲の拡大。

本校の進路指導・学習指導

①45分授業の導入（平成23年度～）

平成16年度以降50分×6コマ（木曜日のみ7コマ）で授業が行われていたが、「WIII Project」の実施にともない平成19年度より、家庭と情報の授業を1年次の履修とするため、ぶら下がり7コマの曜日が火・木の週2日に増えた。平成22年度からはさらに水曜を45分×7コマとして、週3日7コマ授業体制に移行した。翌平成23年度には、新教育課程（理科の履修科目増）に対応するために45分×7コマ授業へと移行した。その後、45分×7コマ授業体制は現在まで続いているが、導入当初から生徒の学力保証に関して様々な意見があり、45分授

業に対応した授業改善や教員の授業力向上が大きな課題となっている。

②朝学習

平成5年度から続いている朝学習は、全職員の協力のもと、学力向上や授業時数確保の面で貴重な時間となっているだけでなく、生徒の生活習慣の確立や学習に対する姿勢づくりにも大きく貢献している。進路指導部と各学年が連携しながら弾力的な運用がなされている。1、2年生は英数国の課題学習が中心であるが、学年によっては面談や小論文指導に活用したり、成績層別の講義形式指導を実施するなど工夫がみられる。3年生は理科・地歴公民も含めた5教科の講義形式での実施が主流である。

③土曜学習

平成17年度からは「土曜学習」として、生徒全員を出校させての補習授業を実施している。授業に準ずる扱いの補習として、年間の時間割にしたがって進路希望実現のために直接関わる内容を扱っている。当初は通年で十数回の実施であったが、部活動の状況も鑑みて、現在では後期以降の年6回程度の実施となっている。

④長期休業中講習

「夏期講習」「冬期講習」は、少しずつその形を変えながら現在に至っている。ここ数年で実施日数も若干減少し、夏期冬期と

もに、日曜祝日を除いた10日前後を目処とした日数での実施となっている。

⑤考查前学習会

各学年の取り組みとして、考查前に成績不振者や考查に向けた意欲の高い生徒に対し、考查前に学習会を開催する場合もあった。近年の生徒の学習状況をふまえ、進路指導部主体として全学年足並みをそろえての実施に移行している。補習形式、自学形式など形態は各学年の裁量によるが、生徒の学習意欲向上に向けて一役買っている。

⑥高校入学時の指導

平成16年度から、入学直後に英数国の特別時間割を組み、ノート指導・予習復習など、授業の受け方や家庭学習の進め方を指導する「学習オリエンテーション」の時間を設けた。平成25年度からは、新入生宿泊研修を実施し、学習指導を含めた初期指導を行っている。

⑦推薦・AO入試指導

推薦・AO入試に関わる小論文・面接指導については、各学年や各教科で個々に対応する状況が続いていたが、生徒の推薦志向の高まりや学校の方針としての積極活用観点から、指導体制の見直しははかられた。平成19年には小論文指導委員会が組織され、教員の半数を3系列に分けて指導をする体制が整えられた。翌年からは全職員

を8系列に分けて指導する体制に拡充し、県内でも抜きん出た合格実績を達成するに至った。この体制は現在も続いている。

⑧難関大指導

平成17年度から、難関大学合格を目指す生徒に対し、職員が学年や教科の枠を超えたチームを作り、組織的・継続的に指導する「難関大プロジェクト」が実施された。その後、平成19年度以降は各学年に難関大指導が任される状況となり、生徒の状況に応じた上位者・難関大志望者指導が行われている。しかしながら、本校が地域の中心進学校としての責務を負っていることや近年の難関大学合格実績を考えると、より組織的で積極的な難関大志望者指導が必要となってくると考える。

⑨大学出前講座

2年生の秋に大学教授を招き、10講座程度を開講し、大学での学びに触れることで進路意識を高揚させることを目的とした事業である。東北大学、秋田大学など国公立大学を中心に大学との連携を取りながら進められている。

⑩大学見学会・東北大オープンキャンパスツアー

年度によって実施形態が異なるが、1、2年次に学年全員が秋田大学や弘前大学へ出向き、大学見学や模擬講義体験をしてい

る。近年では、1年生全員を文理に分け、秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学の見学を実施する形態となっている。

また、東北大学のオープンキャンパスに合わせ、理数科生徒を中心として、東北大学のオープンキャンパスツアーを実施している。予備校での講義を設定した年度もあつたが、現在では目的を明確にするという意図で大学見学を主とした事業となっている。その際、卒業生に協力してもらい、キャンパスツアーの手伝いをしてもらったり、宿舎に招き、講演をしてもらったりなど、より効果的な実施を模索しているところである。

地域の中心高校として

生徒の進路に関わる様々な情勢が大きく変動するなか、本校としては試行錯誤を重ねながら様々な進路指導・学習指導に積極的に取り組み込んだ十年であつたといえる。「すべては生徒の幸せのために」、「夢と志をはぐくむ学校を目指して」、という理念のもとスタートしたWill Projectは本校の進路指導を新たなステージへと引き上げた。しかし激動の社会情勢・大学入試情勢のなか、我々は地域の中心高校として、地域の要請に応えうる人材を育成する義務を負っていることに変わりはない。よって進学者の質と量の拡大は常に重点

課題となる。「文武両道」を実現するなかで、生徒一人一人の進路希望を確実に達成させることが最も重要であり、我々はこの基本を大

切にし、その達成に向けた研修を重ね、生徒の指導にあたらなければならない。

資料1 最近10年間の進路状況

種 別			年 度		平成27年3月卒		平成26年3月卒		平成25年3月卒		平成24年3月卒		平成23年3月卒	
卒 業 者 総 数			男女	136 86	222	136 79	215	114 117	231	126 93	219	116 114	230	
大学短大進学	大 学	国 公 立 大 管 外 大 大	男女	53 28	81	41 22	63	39 38	77	52 35	87	50 42	92	
			男女	45 39	84	56 44	100	47 50	97	42 36	78	45 39	84	
	短 大	国公立短大 管外短大 大	男女	1 1	2	2 2	4	1 1	2	0 0	0	0 4	4	
			男女	0 1	1	0 1	1	0 3	3	1 2	3	0 0	0	
	小 計		男女	99 69	168	99 69	168	87 92	179	95 73	168	95 85	180	
			専修学校・各種学校等への進学		男女	4 10	14	11 1	12	6 16	22	7 11	18	4 16
	就 職 者			男女	18 3	21	9 3	12	11 1	12	8 3	11	5 7	12
	未 決 定 者 (その他を含む)			男女	15 4	19	17 6	23	10 8	18	16 6	22	12 6	18
合 計			男女	136 86	222	136 79	215	114 117	231	126 93	219	116 114	230	

種 別				年 度		平成22年3月卒		平成21年3月卒		平成20年3月卒		平成19年3月卒		平成18年3月卒	
卒 業 者 総 数				男	123	227	128	226	120	234	176	277	158	274	
				女	104		98		114		101		116		
大学短大進学	大 学	国 公 立 大	男	54	94	60	97	68	115	78	112	56	95		
			女	40		37		47		34		39			
		私 立 大	男	47	85	43	79	36	83	51	84	53	99		
			女	38		36		47		33		46			
	短 大	国公立短大	男	1	1	0	3	1	2	1	3	0	2		
			女	0		3		1		2		2			
		私立短大	男	0	6	0	6	0	3	1	16	1	5		
			女	6		6		3		15		4			
	小 計				男	102	186	103	185	105	203	131	215	110	201
					女	84		82		98		84		91	
専修学校・各種学校等への進学				男	5	12	2	16	3	11	19	30	17	32	
				女	7		14		8		11		15		
就 職 者				男	6	9	11	12	3	6	6	8	11	13	
				女	3		1		3		2		2		
未 決 定 者 (その他を含む)				男	10	20	12	13	9	14	20	24	20	28	
				女	10		1		5		4		8		
合 計				男	123	227	128	226	120	234	176	277	158	274	
				女	104		98		114		101		116		

資料2 国公立管外大学過去10年間合格者数（現役）

卒業年 大学名		H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18
北海道大			1	1	3	2	2	3	4		2
北海道教育大		6	3	1	2	1	5	2	4	3	4
室蘭工業大		3	4		2	2	2	1	1	2	1
北見工業大			1	1			1		1		1
帯広畜産大		1					1				
弘前大		8	7	5	7	6	11	14	9	14	6
岩手大		2	1	3	2	5	8	6	9	8	3
東北大		3	4	4	7	7	6	4	3	4	8
宮城教育大		2	1	3	1	2		2	5	3	1
秋田大	教育文	8	3	6	6	8	6	7	9	9	6
	医	3	5	2	3	3	6	1	6	5	3
	理工※	7	10	5	4	8	3	8	13	6	9
	国際資源計	3									
山形大		21	18	13	13	19	15	16	28	20	18
福島大		1	1	1	1	2	3	5	4	2	8
茨城大			2	1	2		3	1	3	5	1
筑波大		2		1	1		1		2	4	5
宇都宮大		1		5	3	4	1	1	4	1	2
群馬大		1	1		3	2	4	2	4	2	3
埼玉大			1	2		2		1		1	1
千葉大		2		1	2	4	4	2	2	2	5
電気通信大				1	8	4	2	5	4	1	3
お茶の水女子大		1		2	3	3			1	3	
東京大							1				
東京医科歯科大							1			1	
東京外語大		1			1			1	1		1
東京学芸大			2	1	1		1	2	2		
東京海洋大											1
東京農工大				1			1				2
一橋大										1	
横浜国大		1		1	2	1	1	1	1	2	1
新潟大		3	6	6	6	10	11	13	11	11	5
富山大		2					2	3		4	
金沢大		1							1	1	
静岡大					1	1					
京都大					1					1	
その他国立大									2		3
釧路公立大			2			1	2		1	3	3
名寄市立大		1	1		1	1					1
青森県立保健大		1		1	3	5	2	3	4	2	4
青森公立大		6	2	2	3	4	2	2	3	2	3
岩手県立大		3	2	1	1	2	4	4	3	3	
宮城立大		1	1		1	4		1	2	2	
秋田県立大		3	1	6	3	3	1	1	3	4	3
国際教養大		1	1	3	3	2	5	3	3		
山形県立保健大		2		1							
群馬県立女子大		1		1	1		2				2
高崎経済大		4	1	2	1	1		2	5		
埼玉県立大		1					1			1	
首都大学東京			1	1	1	2	1		1		2
神奈川県立保健福祉大				1				1			
横浜市立大		1		3		1				1	1
新潟県立大		2	1	3	2	1	1	1			
都留文大					1		2				
その他公立大				3	2	1	3	2	1	6	2
管外大学		1		1			1	1	1	1	1
合計		90	66	82	95	105	115	108	134	121	107

資料3 私立大学過去10年間合格者数（現役）

大学名	卒業年	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18
札幌	幌大	1		1		1					1
札幌	学院大		1	4		2				1	5
札幌	国際大		3	1		1	1				1
青森	森大	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1
八戸	工業大	1		1				2		2	1
弘前	医療福祉大	2	1	3	2	2	2				
弘前	学院大	4	1	2	1	3	4	4	1	5	3
岩手	医科大	1	1	1		2		5	3		
盛岡	大	2	2	2		2	1		6	1	9
東北	学院大	9	2	21	14	15	6	19	15	4	19
東北	工業大		9	2	3	1	1	1		5	1
東北	福祉大	10	6	5	3	9	5	5	5	4	5
東北	文化学園大	5		2	4	7		2	1	6	3
東北	薬科大	2	4	3	1	1	1	7	3	2	2
秋田	看護福祉大	9	2	3	4	11	8	2	6	6	4
日赤	秋田看護大	5	4	4	3	8	2	2			
国際	医療福祉大	2	1	2		3	2		1	2	
文	教大	6	3	4	5	5	2	1	5	5	5
神田	外語大	1	1		1			1	1	1	
青山	学院大	2		1		2	2		3	1	3
北	里大			3	2		1	3	1		2
慶	應大	1		1							
國	學院大	5	1		1	1	4	2	8	3	2
国	士館大	4		2	2	1	1	1	2	3	1
駒	澤大	4	2	1	2	2		3	2	2	3
昭和	女子大	3	1	2				2			2
昭和	薬科大		1		1	1	1	3	3	1	1
成	蹊大		1	1	1		3	1	2		
専	修大	2	5	5		3	3	1	2	4	3
大	東文化大		5	5	1	1	2	5	1	3	8
拓	殖大	5	6	5	5	3	1		2	3	
中	央大	1	1	5	3	5	2	1	4	3	3
津	田塾大	1	4		1	2		1		1	1
帝	京大	1	2	2	4	4	4	2	5	8	9
東	海大	2	7	5	3	6	4	1	4	6	12
東	京女子大		2		1		4	2	1	3	2
東	京農業大		3	2	1		2	6	3		1
東	京理科大	1		3	1	3	4	1	3	3	4
東	洋大	2	2	7		2	4	1	3	6	4
日	本大	7	13	7	7	10	10	4	8	10	12
日	本社会事業大	1		1	1						1
日	本体育大				1	1		3		1	1
法	政大	2	6	4	5	2	11	5	7	2	5
明	治大		3	2	9	6	9	3	7	5	6
明	治学院大			1	1	3	4		5	4	1
立	教大	1	4	1	3	3	3		1	2	3
立	正大	2	1	1	3		1	4	5	3	3
早	稲田大	2	1	2	2		2	1	1	1	2
神	奈川大	9	11	8	6	2	12	3	10	8	9
関	東学院大	1	2	5	2	2	1	3		3	2
新	潟医療福祉大	1	1	1	5	1			2	3	1
金	沢工業大		1	1		3	1	1	1	4	1
中	京大	2	6				1			1	
同	志社大				1	2	2		1	2	1
立	命館大			1	4	2		2			
近	畿大	1			1						
そ	の他大学	77	79	99	50	54	77	57	66	79	78
合	計	201	213	246	173	201	212	174	211	224	247